



とよしん

海外貿易投資ニュース

2015年の自動車生産・輸出・販売台数はいずれも過去最高

2015年の自動車(大型バス・トラックを除く)生産台数は339万9,076台、輸出台数は275万8,896台と、いずれも過去最高だった。国内販売台数も3年連続で100万台を超え、過去最高の135万1,648台となった。輸出はアジアと南米向けが減少したものの、北米や欧州向けが好調だった。対米依存度は72.2%と1.2ポイント上昇し、3年続けての上昇となった。

＜生産は2年連続して中南米で最大＞

メキシコ自動車工業会(AMIA)の発表(1月11日)によると、2015年の自動車生産台数(大型バス・トラックを除く)は、過去最高だった前年に比べ5.6%増の339万9,076台となった(表1参照)。ちなみに、ブラジルの全国自動車製造者協会(Anfavea)によると、同年のブラジルの自動車生産台数(大型バス・トラックを除く)は21.6%減の233万903台で、メキシコが2年連続で中南米最大の自動車生産国となった。輸出台数も4.4%増の275万8,896台と過去最高を更新した。国内販売台数は19.0%増の135万1,648台で、これも過去最高だった。企業別の自動車生産台数の首位は日産で、前年比2.1%増の82万2,948台となった(表2参照)。

シェアは24.2%と前年より0.8ポイント低下した。乗用車では、マーチ(9.7%増)、セントラ(6.9%増)、ツル(2.4%増)が伸びたが、ノート(21.7%減)、ティーダセダン(9.3%減)、パーサ(5.7%減)などは減り、全体で1.1%減少した。他方、商用車は19.2%増で、ニューヨークのタクシーに使われるNV200は637台(17.7%増)だった。2位はゼネラルモーターズ(GM)で、1.8%増の69万446台(シェア20.3%)だった。乗用車では、アベオ(11.7%増)、ソニック(48.2%増)が伸び、全体で24.4%増となった。スポーツ用多目的車(SUV)はトラック(53.2%増)が伸びたものの、それ以外は振るわず、SUV・軽トラック部門全体では2.0%減だった。3位のフィアットクライスラー・オートモービルズ(FCA)は0.7%増の50万3,589台(14.8%)となった。クライスラーブランドはクーラー・キャブ(14.3%増)が伸びて全体で4.0%増加したが、フィアットブランドは30.6%減少した。ホンダは前年比41.6%増の20万3,657台だった。フィット(45.6%減)は減少したが、2015年から生産開始したHR-Vが9万5,882台に上り、CR-Vと合わせてSUV部門が2.6倍になった。2014年から生産を開始したマツダはマツダ2(デミオ)、マツダ3[アクセラ(セダンおよびハッチバック)]がいずれも増加し、18万2,357台を記録した。トヨタを含めた日系企業の生産シェアは38.7%と、前年より3.8ポイント上昇した。一方、国内販売台数については、首位の日産が前年比19.0%増の34万8,942台となり、シェアは25.8%で前年と同じだった。マーチが35.8%増の4万9,658台と伸びたほか、輸入車のSUVエクストレイルが2.2倍の2万5,668台、高級車では輸入車のマキシマが72.2%増の625台となった。2位はGMで、18.1%増の25万6,150台(シェア19.0%)だった。ソニックが34.0%増の2万9,606台と伸びている。3位はフォルクスワーゲン(VW)で、11.9%増の21万8,616台(16.2%)。ニュージェッタが43.7%増の5万385台と伸びたほか、輸入車のベントが48.0%増の5万3,096台、ゴルフが18.7%増の1万5,450台となった。日産以外の日系企業では、ホンダが21.1%増の7万5,928台だった。フィットとシティ(輸入車)が伸びたことに加え、HR-Vも1万2,567台と好調だった。トヨタは21.8%増の8万4,779台で、カローラ(輸入車)は微減したものの、幅広い車種で増加し、ヤリスセダン(輸入車)やプリウス(輸入車)なども伸びた。マツダは5万7,394台と40.0%増加した。2015年に投入した現地生産車のマツダ2が5,094台、マツダ3は4倍近い1万1,777台となった。日系企業全体の販売シェアは44.4%で、前年より0.9ポイント上昇した。

＜輸出の対米依存度は72.2%に上昇＞

輸出を地域別にみると、北米(米国とカナダ)向けは前年比6.6%増(うち米国向けは6.3%増)だった(表3参照)。米国に20万台以上輸出された車種は、セントラ(日産、21万717台)、シルバード2500ドブレ・カピナ(GM、21万945台)、フュージョン(フォード、28万1,535台)、ラム2500(FCA、21万325台)。対米輸出のシェアは72.2%で、前年より1.2ポイント上昇した。欧州向けは47.9%増となった。他社が輸出台数を減らす中、マツダが純増で5万8,945台を輸出した。マツダ2がドイツ向け1万855台、スイス向け2,922台、オーストリア、オランダ向けがいずれも2,524台となり、マツダ3ハッチバックのドイツ向け8,586台なども目立った。一方、南米向けは前年比16.4%減で、特にブラジル向けの42.2%減が響いた。アジア向けも、中国向けの不振で、前年比37.2%減少した。VW(54.5%減)やFCA(45.3%減)などの落ち込みが大きかった。米国における原産国別販売比率は、2008年に8.9%だったメキシコ製が2015年には11.5%に上昇した一方、日本製は14.4%から9.3%に低下し、メキシコ製との差が開いた(図参照)。

(次ページへ続く)

表1 自動車の生産、輸出、国内販売台数(大型バス・トラックを除く) (単位:台、%)

	生産	輸出	国内販売
2012年	2,884,869	2,355,564	987,747
2013年	2,933,465	2,423,084	1,063,363
2014年	3,219,776	2,642,887	1,135,409
2015年	3,399,076	2,758,896	1,351,648
前年比	5.6	4.4	19.0

(出所)メキシコ自動車工業会(AMIA)

表2 企業別自動車生産、販売台数(大型バス・トラックを除く) (単位:台、%)

企業名	生産				販売			
	2014年	2015年	構成比	前年比	2014年	2015年	構成比	前年比
日産	805,871	822,948	24.2	2.1	293,204	348,942	25.8	19.0
GM	678,388	690,446	20.3	1.8	216,958	256,150	19.0	18.1
FCA	500,247	503,589	14.8	0.7	77,023	86,768	6.4	12.7
VW	475,121	457,517	13.5	△ 3.7	195,332	218,616	16.2	11.9
フォード	442,583	433,752	12.8	△ 2.0	80,965	89,594	6.6	10.7
ホンダ	143,832	203,657	6.0	41.6	62,723	75,928	5.6	21.1
マツダ	102,346	182,357	5.4	78.2	40,997	57,394	4.2	40.0
トヨタ	71,398	104,810	3.1	46.8	69,597	84,779	6.3	21.8
現代	-	-	-	-	12,064	26,251	1.9	117.6
ルノー	-	-	-	-	24,889	24,320	1.8	△ 2.3
BMW(MINIを含む)	-	-	-	-	14,902	17,475	1.3	17.3
三菱自動車	-	-	-	-	11,780	16,284	1.2	38.2
スズキ	-	-	-	-	12,510	12,914	1.0	3.2
起亜	-	-	-	-	-	11,021	0.8	-
メルセデス・ベンツ	-	-	-	-	10,565	11,490	0.9	8.8
プジョー	-	-	-	-	6,147	7,295	0.5	18.7
いすゞ	-	-	-	-	1,468	1,940	0.1	32.2
スバル	-	-	-	-	1,410	1,618	0.1	14.8
その他	-	-	-	-	2,875	2,869	0.2	△ 0.2
日系企業合計	1,123,447	1,313,772	38.7	16.9	493,689	599,799	44.4	21.5
合計	3,219,786	3,399,076	100.0	5.6	1,135,409	1,351,648	100.0	19.0

(注)系列ブランド(例えばVWはセアト、アウディ)を含む。いすゞの販売台数はELF200/ELF300の販売台数だけがAMIAに報告されている。

(出所)表1に同じ

表3 企業別仕向け別輸出台数(大型バス・トラックを除く) (単位:台、%)

企業名	年	仕向け地					輸出合計	
		北米	中米・カリブ	南米	欧州	アジア		その他
GM	2014年	467,249	2,624	45,719	618	32,611	4,681	563,502
	2015年	468,382	1,800	43,017	0	24,913	1,821	539,933
	前年比	0.2	△ 31.4	△ 5.9	△ 100.0	△ 23.6	△ 61.1	△ 2.5
日産	2014年	407,733	15,475	82,074	270	32,178	1,242	538,972
	2015年	411,664	25,278	56,976	0	23,264	1,505	518,689
	前年比	1.0	63.3	△ 30.6	△ 100.0	△ 27.7	21.2	△ 3.8
VW	2014年	255,595	933	33,448	81,232	26,532	236	397,976
	2015年	275,727	784	30,815	73,854	12,079	4	393,263
	前年比	7.9	△ 16.0	△ 7.9	△ 9.1	△ 54.5	△ 98.3	△ 1.2
フォード	2014年	385,448	0	41,126	0	0	0	426,574
	2015年	384,182	0	28,521	0	0	0	412,703
	前年比	△ 0.3	-	△ 30.6	-	-	-	△ 3.3
FCA	2014年	396,215	0	16,877	16,064	35,850	712	465,718
	2015年	434,520	0	9,211	12,464	19,624	814	476,633
	前年比	9.7	-	△ 45.4	△ 22.4	△ 45.3	14.3	2.3
トヨタ	2014年	71,398	0	0	0	0	0	71,398
	2015年	97,553	3,538	0	0	0	0	101,091
	前年比	36.6	-	-	-	-	-	41.6
ホンダ	2014年	93,309	0	11,429	0	0	0	104,738
	2015年	135,026	0	6,845	0	0	20,547	162,418
	前年比	44.7	-	△ 40.1	-	-	-	55.1
マツダ	2014年	65,999	0	0	0	0	18,010	84,009
	2015年	76,448	1,205	17,546	58,945	-	22	154,166
	前年比	15.8	-	-	-	-	△ 100.0	83.5
合計	2014年	2,142,946	19,032	230,673	96,184	127,171	24,881	2,642,887
	2015年	2,283,502	32,605	192,933	145,263	79,902	24,691	2,758,896
	前年比	6.6	71.3	△ 16.4	47.9	△ 37.2	△ 0.8	4.4

(注)仕向け地の「その他」には、「アフリカ」及び「仕向け地不明」を含む。

(出所)表1に同じ

前ページからの続き

＜日産エクストレイルの販売伸びる＞

モデル別販売台数をみると、セダン・コンパクト部門では、1位のアベオ(GM)が前年比17.3%増の7万6,696台で、2位のバーサ(日産)が19.9%増の6万4,454台と追走している(表4参照)。3位は輸入車ベント(VW)で38.0%増の5万3,096台。同車種はインドから、同じVWのゴルはブラジルから輸入されている。急増したクライスラーのアティチュードは韓国から、GMのスパーク、マティスも韓国から、トヨタのカローラはカナダからの輸入だ。SUV関連では、日産のエクストレイルが2倍強の2万5,668台と好調だった。全車が日本からの輸入となっている。マツダCX-5(輸入車)も20.7%増の1万4,782台と引き続き人気だ。他方、ホンダHR-Vは現地生産車として2015年から市場に投入され、1万2,567台だった。

＜安全や環境規制の議論が本格化＞

メキシコの自動車安全規制や環境規制の動向としては、1つは小型乗用車の安全基準に関する規制、もう1つは排ガス規制に影響する燃料に関する規制の議論がある。小型乗用車の安全基準(案)は、2015年2月25日付経済省PROY-NOM-194-SCFI-2014「メキシコ公式規格(NOM)(案):新車の安全基準に係る不可欠な装備」において草案が公開された。その後、パブリックコメントを受けつつ、最終案を待つ段階に来ているとされているが、2016年1月14日現在まだ示されていない。草案段階では、対象は総重量3,857キロを超えない新車の安全装備で、対象の新車を販売しようとする者は、第1段階として当該NOMの表1に示された各安全装備について米国、欧州、日本、韓国、ブラジルないし国連基準のいずれかに適合していることが要求される。各装備の基準のリファレンス番号は表中に示されている。第2段階として、当該NOMの表2に示された衝突性能試験(正面、後方)をクリアする必要があるが、これもいずれかの基準に適合していればよい。第1段階は当該NOM公布180日後に発効し、第2段階については発効日以降の新型車は3年後から、既生産車は4年後からの施行となっている。基準に適合していることは第三者機関によって認証されるとしている。排ガス規制については、ガソリン、ディーゼルのいずれも規制強化の議論が開始されているが、その前提として燃料の規格改正が必要との認識から、NOM086-SEMAR-SENER-SCFI「環境保護のための化石燃料規格」を改正した上で、同規格に沿った燃料供給網をメキシコ全土に敷くとし、石油公社PEMEXも低硫黄燃料供給のため大規模な製油所改修案件を複数発表しているが、現状ではまだ同規格は改正されていない。排ガス規制の強化と燃費規制の議論は並行して続けられるものとみられる。グローバルな車種を生産し、世界各国に輸出しているメキシコの完成車メーカーとしては、それぞれの項目で最も厳しい輸出相手国の基準に合わせて仕様設計しているケースが多く、国内販売向けにおいては、新たな安全・環境規制の下で戦略変更を強いられるケースは、一部車種を除いて少ないとみられる。

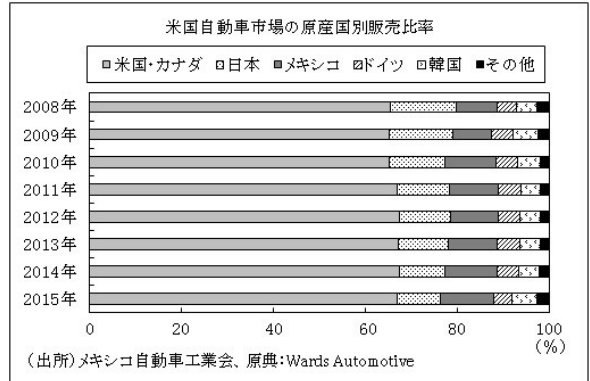


表4 モデル別販売台数 (単位: 台、%)

部門	モデル	2014年	2015年	前年比
セダン・コンパクト	アベオ	65,394	76,696	17.3
	バーサ	53,777	64,454	19.9
	ベント*	38,474	53,096	38.0
	ニュージェッタ	35,054	50,385	43.7
	マーチ	36,565	49,658	35.8
	ツル	45,524	49,134	7.9
	スパーク*	36,479	41,914	14.9
	セントラ2.0	30,627	35,996	17.5
	ソニック	22,091	29,606	34.0
	ティアダセダン	28,316	27,414	△ 3.2
	マティス*	21,362	23,786	11.3
	マツダ3 セダン	14,391	22,239	54.5
	ゴル*	13,020	15,450	18.7
	アティチュード*	195	13,778	6,965.6
SUV、ミニバン、ピックアップ	カローラ*	13,553	13,215	△ 2.5
	その他	290,428	325,373	12.0
	計	745,250	892,194	19.7
	シヤシス・ラルゴ	24,762	31,700	28.0
	エクストレイル*	11,682	25,668	119.7
	トラックス	19,571	24,593	25.7
	CR-V	25,216	23,420	△ 7.1
	CX-5*	12,246	14,782	20.7
	HR-V	-	12,567	-
	ピックアップ・ドブレカピナ	10,722	12,424	15.9
	ジャーニー	11,688	10,972	△ 6.1
	RAV4*	9,539	10,489	10.0
	ハイラックス*	8,783	10,454	19.0
	レンジャー・クルーキャブ*	6,913	10,382	50.2
ダスター*	12,652	10,213	△ 19.3	
フロンティア	5,795	10,143	75.0	
ラム700*	1,495	8,159	445.8	
エスタカス・ラルゴ	8,589	7,987	△ 7.0	
その他	220,506	235,501	6.8	
計	390,159	459,454	17.8	

(注)*は輸入車。
(出所)表1と同じ

(出所: ジェトロ通商弘報2016年1月21日 6b457ddaff5b9b75 「2015年の自動車生産・輸出・販売台数はいずれも過去最高(メキシコ)」)

！！外貨両替は弊庫へ 米ドルは全店で、17通貨は本店で取扱中！！

次のセミナー等をご案内させていただきました。

セミナー等名称	開催地	主催者
輸出入門セミナー ～農林水産物・食品の輸出を対象として～	名古屋	ジェトロ
アフリカビジネスの今と日本企業	名古屋	ジェトロ
知財リスク対策セミナー	名古屋	ジェトロ
「農林水産物・食品輸出」商談スキルセミナー	名古屋	ジェトロ
シンガポール国際水週間2016 水エキスポ	シンガポール	ジェトロ
農水産物・食品 東南アジア等海外輸出に向けた国内商社との商談会	名古屋	ジェトロ
メキシコ自動車産業ビジネス環境セミナー	名古屋	ジェトロ



国際業務部

〒471-8601
愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213

URL <http://www.toyoshin.co.jp>